

令和2年度使用中学校教科用図書選定委員会選定理由書

種目	国語	第1推薦：東書	第2推薦：光村
選定理由	<p>対象となった5社の図書は、いずれも基礎的・基本的な内容を定着させるため、指導内容が創意工夫されている。また、手引き等に示した言語活動は、情報を取り出し、考えを深め、考えたことを表現活動につなげることを通して、主体的な学びを引き出す工夫がなされている。</p> <p>とりわけ、第1推薦、第2推薦の図書は、言語活動の充実に向け、1枚のページの上段に言語活動の手順、下段に言語活動の具体的な例を示し、視覚的に分かりやすい工夫がなされている。また、図表等の資料と関連付けながら読む必要のある教材文が用意されている。</p> <p>第1推薦の図書は、巻頭の各单元の学習のねらいや学習の進め方の提示により、1年間の学びに対して視覚的に見通しや目的をもつことができるようになっている。また、言語活動の充実についても学習指導要領に示された活動例が網羅されている。特に、「書くこと」では、16の学習材が設定されており、螺旋的な学びができるようになっている。加えて、巻末には資料編が示され、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」に係る基礎的・基本的な事項及び目的に応じた読書に関する事項並びに学習用語が示され、既習事項を振り返ることができるようになっている。</p> <p>第2推薦の図書は、「話すこと・聞くこと」「書くこと」において、練習教材と本教材があり、スマールステップで学ぶことができるようになっている。また、学習の振り返りにおいて、観点を示すことで、学びのゴールを生徒に意識させることができるようにになっている。</p> <p>しかしながら、第2推薦の図書は、一つの单元に複数の教材文があるために、付けたい力が焦点化されなかったり、一つの单元が膨大になったりすることが懸念される。</p>		

種目	書写	第1推薦：東書	第2推薦：光村
		対象となった5社の図書は、いずれも写真や絵、図により視覚的に姿勢や筆記用具の持ち方等の基礎的・基本的な技能の定着が図られるようになっている。内容の構成についても、いずれも硬質と毛質を関連付けて学ぶようになっている。また、単元ごとあるいは課題ごとの違いはあるが、目標と振り返りを記入する欄が設けてあり、生徒が自らの学びを確認できるように工夫されている。	
選定理由		とりわけ、第1推薦、第2推薦の図書は、各学習における「ポイント」が示されているため、生徒が留意すべき点を明確にしながら書写を行えるようになっている。また、書写を生活に活かす単元では、手紙や荷物の送り状はもとより、願書、ノートの書き方等生徒の生活に密着した課題の設定が見られる。	
		第1推薦の図書は、A B版で幅が広く、手本の外に注釈が示されているため、書写をする時に注釈が邪魔にならない。また、運筆を擬音で説明する等の工夫も見られる。加えて、人名漢字表も示され、日常生活において参考にすることができる。	
		第2推薦の図書は、日常で活用する書写で培った力が巻末にまとめて掲載され、生徒が日常生活で本図書を参考にしながら書く活動を行う時に調べやすくなっている。	
		しかしながら、第2推薦の図書は、第1推薦の図書と比べると、1ページにおける情報量が多いため、視覚的に理解しにくい点がある。	

種目	社会（地理的分野）	第1推薦：東書	第2推薦：日文
選定理由		<p>対象となった4社の図書は、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫として、領土をめぐる問題等に関する記載がされている。また、1単位時間は見開き2ページとし、タイトルの近くに「学習課題」を明確に示すと共に、キャラクターが吹き出しで問い合わせをしながら学習活動を促す工夫をしている。さらに、学習内容の定着が図れるよう「まとめ」についても様々な方法で示されている。とりわけ、第1推薦、第2推薦の図書は、内容の構成や扱う資料の量・種類において適切な分量であり、小学校における既習事項とのつながりが明示されていた。</p>	<p>第1推薦の図書は、興味・関心を喚起する導入資料、学習のめあてが分かる「学習課題」、学習内容を整理する「確認」まで構造化されており、基礎的・基本的な内容を確実に定着させるための工夫がされている。また、小学校における既習事項や他分野を関連付けた構成となっており、小中9年間の学習を系統的に進めることができる編集となっている。さらに、掲載写真や地図が最も多く、作業的・体験的な学習も充実している。</p>
選定理由		<p>第2推薦の図書は、資料を読み取る視点を系統立てて学習できるコーナーがある。書き込みや作業学習を多く設けていることなど、基礎・基本の確実な定着を図ろうとする工夫が見られる。また、「学習課題」に対応して学習の理解を確かにする語句説明をする問題に加えて、学んだ知識を活用してさらに考えを深めたり、今現在起こっている問題に取り組んだりする問い合わせを示している。併せて、小学校の学習内容や他分野での学習内容を意識させている。</p>	<p>しかしながら、第1推薦の図書の方が、写真・絵図・地図・図表グラフ等の資料が多く、学習内容を深めるための手立てが優れている。</p>

種目	社会（歴史的分野）	第1推薦：東書	第2推薦：教出
選定理由		<p>対象となった8社の図書は、キャラクターなどを使うことにより、生徒に興味・関心を喚起させるとともに、1単位時間を見開き2ページとして学習課題とまとめを示し、重要語句は太ゴシックで表示するなど、基礎的・基本的な内容を定着させる工夫がなされていた。とりわけ、第1推薦・第2推薦の図書は、写真・イラストや図版等の資料が大きく構造的に配列され、問題解決的な学習の流れを明確にして、イメージをつかみやすいものになっている。</p> <p>第1推薦の図書は、1単位時間を見開き2ページとし、興味・関心を喚起する導入資料、学習のめあてが分かる「学習課題」、学習内容を整理する「確認」まで構造化されている。また、教科横断的な学習として扱える特設ページも豊富で充実している。さらに、資料や図が大きく、精選されており、時代区分ごとの統一感をもたせた色調により学習効果を高める紙面構成となっている。見開きの右ページの下にある「確認」コーナーや章末のまとめでは、学習した内容を箇条書きや年表・新聞形式で表現させるなど多様性が認められ、思考力・判断力・表現力育成の基盤となる言語活動の充実にも十分に対応している。</p> <p>第2推薦の図書は、資料が厳選され学習の見通しがつかみやすく、学習事項の定着が図れるよう工夫されている。特に、興味を引きつけるメインタイトル、学習事項を表すサブタイトル、キャラクターが吹き出しで資料を読み取る視点により、学習活動を促している。また、2段階で行う毎時間の学習のまとめ、難しい語句の補足説明も有効である。</p> <p>しかしながら、第1推薦の図書の方が、地理・公民分野や小学校での学習との関連付けが明示されている点で優れており、教科横断的な学習への発展が期待できる。</p>	

種目	社会（公民的分野）	第1推薦：東書	第2推薦：日文
対象となった7社の図書は、いずれも1単位時間を見開きとし、「なぜ」「どのように」などの問い合わせ、1時間で追究する課題を提示している。重要語句は太ゴシックで表示するなど、基礎的・基本的な内容を定着させる工夫がされていた。さらに、公民としての基礎的教養を培うために、現代社会をとらえる見方や考え方が提示されている。とりわけ第1推薦、第2推薦の図書は説明的文章が適量であり、さし絵・写真等の資料も豊富である。内容構成のバランスも良く、興味・関心をもたせる工夫が見られた。また、発展的な学習内容が充実しており、思考を深める問いに工夫が見られた。			
選定理由	<p>第1推薦の図書は、1単位時間を見開きとし、興味・関心をもたせる導入資料、学習のめあてが分かる「学習課題」、学習内容を整理する「確認」が構造化してまとめられており、基礎的・基本的な知識を定着させる工夫がされている。また、分野関連マークを配置し、他分野や既習事項との関連が図られている。さらに学びやすい内容構成となっており、配列・分量とも適切である。そして、資料や図が大きく、精選されており、単元ごとに統一感をもたせた色調や落ち着きのある紙面構成や、用語解説など、全体的に学習者への細かな配慮がなされている。さらに、1単位時間のまとめや章末には、学習活動を振り返らせる工夫がされている。さらに、主体的に学習に取り組むための作業的・体験的な学習も多彩である。</p> <p>第2推薦の図書は、基礎的・基本的な内容が精選されており、「チャレンジ公民」コーナーなどを設け、現代的課題についても十分に学習ができる内容構成となっており、さし絵・写真や図表・新聞等の資料が豊富である。発展的な学習の事例も充実している。</p> <p>しかしながら、第1推薦の図書の方が、課題の提示の仕方やまとめの振り返り活動の工夫で優れている。</p>		

種目	地図	第1推薦：帝国	第2推薦：東書
選定理由	<p>対象となった2社の図書は、生徒に基礎的・基本的な内容を確実に定着するよう創意工夫がなされている。地図への興味や関心をもたせ、他分野での学習にも活用できる。</p> <p>第1推薦の図書は、見開きを使うなど、国の全体像や地域間のつながりを意識したレイアウトが施されている。例えば「大阪府とそのまわり」では、近畿地方中央をページ中心に配置する場合、大阪市や神戸市あたりにページの境目がくる。中心的な都市間のつながりを意識し、あえてページ境目を明石市周辺とし、阪神地域を同一ページに掲載している。</p> <p>また、各州で「同緯度・同縮尺の日本」が表記され、常に日本との比較ができるよう編集されている。さらに、世界の諸地域や日本の諸地域の学習において、様々な主題に対応できるよう、資料や図等が配置され、自然・産業・文化を中心とした基礎的内容を考察するよう工夫されている。そして、地図を見る際の着眼点を示したり、地図の活用（読図、作図）を促したりするなど、多面的・多角的に考察する力を高める学習ができるようになっている。</p> <p>第2推薦の図書は、「色覚問題研究グループぱすてる」の編集協力や特別支援教育の視点で校閲を行うなど、ユニバーサルデザインを考えた編集となっている。また、見出しの色分けやめあてとなる表示が、生徒が検索する際の支援となる。</p> <p>しかしながら、第1推薦の図書の方が、閲覧の頻度が高くなる東アジア（朝鮮半島）の地図において拡大図が多いこと等、地理的分野のみならず3年間の社会科学習で活用できる点で優れている。</p>		

種目	数学	第1推薦：学図	第2推薦：東書
選定理由		<p>対象となった7社の図書は、数学科の目標に照らして内容に大きな偏りがなく適切に配置されている。また、基礎的・基本的な知識や技能の習得をめざし問題を構成するとともに発展的な問題を配し、生徒の学習を促す工夫がされている。とりわけ、第1推薦、第2推薦の図書は、他の図書と比べ既習事項を振り返り、主体的に学習に取り組むための問題がバランスよく配置されており、量的にも調和がとれている。また、多くのイラストや写真を掲載することで、生徒の考察を深めるための配慮がされている。</p>	<p>第1推薦の図書は、学習内容の説明や例題及び基本問題が充実しており、単元の導入時には、新たな学習内容への興味・関心を高めることができるよう身近な題材を設定するとともに、主体的に学習に取り組む工夫がされている。</p> <p>第2推薦の図書は、節末及び巻末に基本問題があり、基礎・基本の内容の定着状況を確認できる工夫がされている。</p> <p>また、学習した内容を活用し、日常生活の課題を解決できるよう工夫されている。</p> <p>しかしながら、第1推薦の図書は、社会に関連した身近な題材が含まれている点や、数学的活動について生徒が主体的に探究できるよう構成されている点において、第2推薦の図書に対して優位性が認められる。</p>

種目	理科	第1推薦：東書	第2推薦：啓林館
選定理由	<p>対象となった5社の図書は、内容の配列・分量、内容の表現・表記に違いはあるが、構成について様々な工夫が見られる。</p> <p>基礎・基本の定着については単元の最初で、既習事項や学習の流れを示し、単元の最後では学習した内容を確認する問題を取り入れている。主体的に学習に取り組む工夫では、問題解決的な学習や体験的な学習を取り入れ、生徒の主体的な学びを促す内容の工夫が見られる。その中で、第1推薦、第2推薦の図書は、構成・分量・内容とも充実しており、内容の表現・表記において、統一されたレイアウトの中で、写真や図などが美しく配置され、文字もはっきりと見えやすいものとなっている。また、単元の最初で既習事項を明確に示し、単元末に伝統や文化の内容や体験的な学習の内容など総合的に考察する学習を進めることができる。また、他教科との関連した学習を取り上げている。</p> <p>第1推薦の図書は、巻頭部分の話合いや発表の仕方など言語活動が充実しており、以後の単元では、観察・実験などを取り入れ、一貫して問題解決学習を行っている。具体的には、課題、実験の目的、方法、結果の見方、考察、まとめである。さらに、写真や図が非常に美しく、表記も簡潔である。実験方法等が生徒に分かりやすく記述されており、器具の操作の仕方では、順序だけでなく理由も書かれている。既習事項の表記も簡潔で分かりやすく、活用問題も各単元で適切なものが示されており、発展的な学習への工夫がされている。</p> <p>第2推薦の図書は、別冊の「マイノート」には、基礎的・基本的な問題等の確認を図る工夫が見られる。また、本文中の実験・観察で生徒に話し合わせる内容を書き込ませるなどの工夫が見られる。学習に有効な写真や図の扱いについては、第1推薦図書とほぼ同じである。</p> <p>しかしながら、言語活動の工夫については、第1推薦図書に比べると、その扱いが少ないため、第1推薦の図書の優位性が認められる。</p>		

種目	音楽（一般）	第1推薦：教出	第2推薦：教芸
選定理由	<p>対象となった2社の図書は、生徒の興味・関心を生かし、基礎的・基本的な内容を確実に定着させるとともに、思考力・判断力・表現力を育成するため、それぞれに学習方法が工夫されている。</p> <p>第1推薦の図書は、それぞれの曲のねらいが明確に示されている。歌唱教材では学習活動のポイントも示され、イメージを膨らませながら多様な音楽活動ができるように工夫されている。創作教材では、「音のスケッチ」において系統的・発展的に学習できる内容となっている。鑑賞教材については、掲載楽曲が多く、また比較聴取もできるよう工夫されている。折り込み資料では全体像がつかみやすい。さらに、「音楽を形づくっている要素」が1ページに示されており、楽曲を聞いてそれらの働きに注目させる工夫がされている。</p> <p>第2推薦の図書は、教材と連動した練習方法の工夫などで生徒の主体的な活動を取り入れて、基礎的な力を身に付けていくことができる。また、それぞれの楽曲において、音楽の基本的知識について確認することができる。創作活動において、学年ごとに創作手順が詳しく示されている。鑑賞教材の選択も、色々なジャンルが網羅されており、音楽のイメージを印象強く感じ取らせるような大きさや色使いの写真、挿絵を入れるなどの工夫が見られる。</p> <p>しかしながら、第1推薦の図書の方が、より共通事項を押さえながら基礎・基本が確実に定着できるよう工夫されている。また、文字や楽譜、写真などが大きく掲載され、視覚的に生徒の興味・関心を引く工夫もなされており、生徒の思考を深める配慮が見られる。また、巻末に掲載されている楽典は、3ページにわたって視覚的に捉えやすい配色がされており、どの曲で扱われているか掲載ページが示されている。国歌「君が代」は、2ページにわたって取り扱われており、「さざれ石」についての写真が掲載され、歌詞に対する理解が深められるようになっている。</p>		

種目	音楽（器楽合奏）	第1推薦：教出	第2推薦：教芸
選定理由		<p>対象となった2社の図書は、基礎・基本の内容を確実に定着させるために、生徒の興味・関心を深めるように写真やイラストを多く使い、段階的に習得できる工夫がなされている。また、発展的な学習についても、生徒の実態に応じた多角的な教材選びや創造力を伸ばすための工夫がなされている。</p> <p>第1推薦の図書は、各楽器の基本的な演奏方法が提示され、マスターできるようになっている。リコーダーについては、運指が楽譜のすぐ横に示されており、息のコントロールについて腹式呼吸の方法も記述されている。和楽器についても説明が詳しく、練習方法の工夫も示されている。発展的な学習については、アンサンブル曲が数多く掲載されているとともに、様々なジャンルがあり、生徒の実態に応じて選択できるよう工夫されている。また、「音楽のスケッチ」として創作活動が取り上げられており、器楽と創作を関連させながら活動できるように設定されている。</p> <p>第2推薦の図書は、各楽器の構造・種類・奏法・構え方・運指などの的確に提示されている。授業を進めていく上で、生徒がつまづきそうな箇所を自分で解決できるよう、Q&Aという形をとっている。視覚的にも和楽器などの奏法がはっきりと分かるように、一つひとつの動きが示されていて、生徒に理解しやすく適切な内容の構成となっている。また、名曲を数多く取り入れたアンサンブル曲により、生徒を様々な名曲に親しませることができる。</p> <p>しかしながら、第1推薦の図書の方が、リコーダー運指表、ギターコード表について、折り込みでカラー見開きページが加えられているなど、学習していくための様々な工夫に生徒の興味・関心を抱かせる配慮が見られる。奏法の説明も分かりやすく、掲載曲は楽器の特性にあった楽曲が選択されている。また、掲載楽器の代表的な楽曲が紹介されているだけでなく、鑑賞後に批評文（紹介文）による交流活動が取り入れられている。</p>	

種目	美術	第1推薦：日文	第2推薦：開隆堂
選定理由	<p>対象となった3社の図書は、内容の構成・配列・分量において特色が見られ、偏りがないよう工夫がされている。参考作品は、原寸大で鑑賞でき、興味・関心を高める工夫をしている。</p> <p>とりわけ、第1推薦、第2推薦の図書は、基礎・基本の定着において、指導内容の創意工夫が見られる。</p> <p>第1推薦の図書は、題材ごとに「学びのねらい」を示し、どんな力が付いたのかを確かめながら学習を進めることができるよう工夫している。また、全ページを通して授業がイメージしやすい紙面構成をし、大きな図版や具体的な作品解説、作者の言葉を多く掲載することで、発想・構想のヒントにつなげ、言語活動の充実を図ることができるよう工夫している。</p> <p>第2推薦の図書は、絵巻物の紙面構成や紹介では、右から左へ読む絵巻物の形式に合わせて、画面を読み進めていくように工夫している。</p> <p>しかしながら、第1推薦の図書の方が、言語活動の充実に向けた工夫や生徒が意図した表現方法を見付けるための工夫が充実している点で優れている。</p>		

教科	保健体育	第1推薦：学研	第2推薦：東書
選定理由	<p>対象となった4社の図書は、授業内や各章末に振り返り問題を設定するなど基礎・基本の定着や、カラー写真や挿絵を積極的・有効的に取り入れて興味・関心をもたせる工夫がされている。また、主体的な学びを推進するため「課題発見・解決学習」の学習過程を取り入れるなどの工夫がされている。しかしながら、第1推薦、第2推薦の図書は、次の3点で優れていた。1点目は、振り返り問題が充実しているところである。2点目は、日常生活や自分自身にかかわる事例の取り組みやすいところである。3点目は、協働的な学習の取り入れやすいところである。</p> <p>そこから、第1推薦の図書について、次の3点において、第2推薦の図書に対しての優位性が認められる。1点目は、各章の終末にある問題がより段階的であり、学習したことの振り返りや理解がしやすいところである。2点目は、授業の終わりにある既習内容を活用する発問等が、より生活に密着しており、学んだことの有用性を感じられる工夫がされているところである。3点目は、言語活動の充実を図るために表示や内容がより工夫されているところである。</p>		

種目	技術・家庭（技術分野）	第1推薦：東書	第2推薦：開隆堂
対象となった3社の図書は、生活における基礎的・基本的な知識や技能を確実に習得させるために、生活に密着した具体的な題材による実践的・体験的な学習を通して、技術を理解し、実際の生活に生かせるよう問題解決的な学習を多く取り入れている。また、写真やイラストを多く用いて、生徒の興味・関心を高めている。とりわけ、第1推薦、第2推薦の図書は、内容の構成・配列・分量においての工夫が見られる。			
<p>選定理由</p> <p>第1推薦の図書は、各学習内容が、「計画」、「実行」、「評価・改善」を繰り返すように設定されており、主体的な学習活動を促すさまざまな工夫も随所に見られ、問題解決能力を高めていくことができるようになっているとともに、他教科との関連や発展的な内容も記載している。さらに、伝統・文化に関する内容に日本の技術や技術者を紹介する内容も豊富で適切である。全体的に、イラストや写真、レイアウトを工夫し、生徒が意欲的に学習に取り組めるようになっている。言語活動においては、話し合い活動等の充実により、思考力・判断力・表現力を高めるようになっている。</p> <p>第2推薦の図書も、第1推薦の図書と同様、導入課題を設けて生徒に問題意識をもたせ、自ら解決しようとする能力を養うように配慮されている。</p> <p>しかしながら、第1推薦の図書の方が、各学習内容において「計画」、「実行」、「評価・改善」を繰り返すことにより、見通しをもつて主体的に学習に取り組むという面で、優れている。</p>			

種目	技術・家庭（家庭分野）	第1推薦：東書	第2推薦：開隆堂
選定理由	<p>対象となった3社の図書は、家庭生活に関する基礎的・基本的な知識や技能を確実に習得させるために、写真やイラストを多く用いて生徒の興味や関心を高めるとともに、作業工程などがイメージしやすいように工夫されている。また、問題解決的な学習や体験的な学習を取り入れるなど主体的に学習に取り組むまでの工夫が見られる。しかしながら、第1、第2推薦の図書と比べ、他の図書は、内容の構成・分量、表現・表記が十分とはいえない。</p> <p>第1推薦の図書は、巻頭のガイダンスによって、小学校での学習内容を復習し、中学校での学習を見通すことができる。各節には必ず「目標」が示され、「動機付けの発問」が例示されている。また、問題を解決する筋道、生活の課題と実践の進め方の流れや意思決定のプロセスが統一されたデザインで示されており、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。言語活動の充実については、言語活動を取り入れた活動例や実習例、「まとめ方や伝え方のポイント」が示されているとともに、家庭分野の学習に関わる特有の言い回しや名称について「言葉のページ」で解説されるなどの創意工夫が見られる。</p> <p>第2推薦の図書は、第1推薦の図書と同様に、基礎的・基本的知識や技能が確実に習得できるように写真やイラスト説明が多く用いられている。また、課題学習の進め方の例、言語活動を取り入れた活動例、まとめ方や発表方法が示され、主体的に学習に取り組む工夫や言語活動の充実に対応した創意工夫が見られる。</p> <p>しかしながら、第1推薦の図書の方が、基礎的な技能を確実に定着させるための練習や教科横断的な学習が充実している点で優れている。</p>		

教科	英語	第1推薦：三省堂	第2推薦：東書
対象となった6社の図書は、生徒に興味・関心をもたせる題材や絵・写真を豊富に用い、親しみやすい表現・表記になるよう構成が工夫されているとともに、生徒が主体的に学習に取り組むことができるよう、いずれも学習の到達目標を具体的に示している。また、言語活動の充実についても、数単元のまとまりごとに習得したことを活用させるための効果的なタスクが設定されている。とりわけ、第1推薦、第2推薦の図書は、他社の図書と比べて基礎・基本の定着を図るため、文法事項のまとめや練習を効果的に行うことができるよう配列に工夫が見られるとともに、活動の段階性やつながりへの配慮に富んでいる。また、4技能を統合した総合的な活動をする題材も十分にある。			
選定理由	<p>第1推薦の図書は、各単元のはじめに単元の学習内容と到達目標を具体的に示しており、学習の展望をもちやすくする工夫がある。また、一つの単元の中に、基礎的・基本的な事項の習得とそれらの活用のための題材が、用語等についての丁寧な説明とともに4技能それぞれの特色を生かした形で配置されており、学習の段階がつかみやすい構成となっている。また、単元毎のまとめ、イラストによる文法事項の説明、巻末の語彙リストなど、生徒が自らの課題に応じて主体的に学習に取り組むことができるような工夫が多様である。</p> <p>第2推薦の図書は、基礎・基本の確実な定着を図るため、基本文に使う語彙を精選したり、新出の文法事項を扱う箇所での本文の語数を少なくしたりといった配慮が徹底されている。また、単元のまとめの言語活動において、生徒が学習の到達度を自己評価しながらスマールステップで取り組み、4技能を統合的に活用できるよう、内容及び構成が工夫されている。さらに、数単元ごとのまとめの言語活動においては、まとまりのある量の英文が扱われており、思考力の育成につながる発展的な学習に対応できる構成となっている。</p> <p>しかしながら、第1推薦の図書の方が、週4時間の指導時数において学習するには内容構成・配列・分量がより適切であり、また、主体的な学習や多様な言語活動に対応するための題材が多い。</p>		